



わ か く す

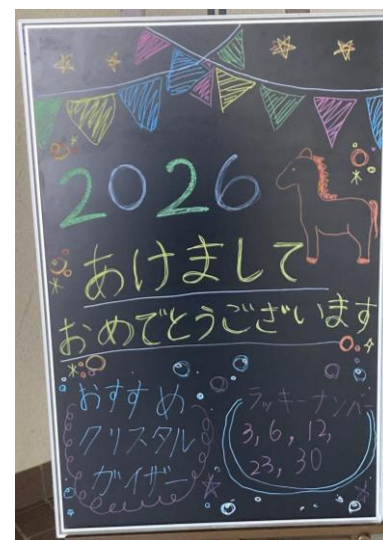
# 若 楠

学び、  
交流し、  
発信する  
学校

令和8年1月30日発行

この文を書いている日（1月16日）は、日中は1月とは思えない暖かさでした。昼休みにはグラウンドでサッカーやバレーボールを楽しそうにしている生徒の輪がたくさんできていました。元気で明るい声が校長室まで聞こえてきて、とてもいい雰囲気が伝わってきました。見ていて心が和み、表情が緩みました。

さて、「新年明けましておめでとうございます」と言うには時間が経ち過ぎました。「1月は往く、2月は逃げる、3月は去る」と昔から言われていますが、早いもので、明日からは2月。この3カ月は特に時間が過ぎるのが早く感じられます。残りの登校日数は1・2年生が32日、3年生は27日と非常に短い学期ですが、2つの意味でとても大切な学期です。それは「仕上げ」と「準備」の2つの意味があるからです。「仕上げ」はこれまでのふり返りです。個人の目標は達成できたでしょうか、そして学級・学年の目標はどうだったか。成長できたところは何で、どういう所が未達成か。今の学年で身につけなければならないこと、やるべきことを意識し、行動してください。「準備」は次の学年や進路（進学、就職など卒業後）先での生活を気持ちよく始めるための土台作りです。進級・進学するという事は、学習内容が難しくなり、行動面では責任が重くなります。すべてに共通しているのは、学年や年齢に合った力が必要とされ、力を発揮するためには「日々の積み重ねが大切だ」という事です。



4月に入ってから慌てて行動するのではなく、今からしっかりと先を見通して、よく考え、色々なことを進めてください。3年生はいよいよ入学試験の本番を迎えます。希望の進路を実現させるために、もうひと踏ん張りが必要です。今はしんどいことも多いと思いますが、やった分の結果は、後からついてきます。私たち教職員も、みなさんに良い報せが来るよう、卒業後に困らぬよう行動します。頑張ってください。みなさんの真剣さは後輩にも伝わり、手本となって受け継がれます。

今年の干支は「丙午」。60年に一度巡ってくる、火のエネルギーが最高潮に達する年だそうので、行動力が高まって挑戦が実りやすかったり、新しいことを始めるのに追い風になったり、情熱・活力・変革の気運が高まると言われています。一人ひとりの気持ちや行動が、これからの東中を創ります。良い年になるように、進んでいきましょう。

保護者の皆さま。今年も東中学校の様々な活動にご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



## あいさつ運動

1 1月から毎週火曜日と水曜日に、生徒会役員が正門であいさつ運動を行っています。2学期終業式の日がちょうどクリスマスイブだったこともあり、クリスマスにちなんだ仮装で活動をしていました。生徒はもちろん、通りかかった地域の人たちも笑顔でした。教室前の廊下から見ている生徒もいて、とてもいい雰囲気をつくっていました。あいさつは生活の基礎であり、良好な交友関係を築いていくための土台です。気持ちのいい挨拶の声は、してもらった方も幸せな気分になります。周りを笑顔にする、みんなが楽しい学校にするための取り組みをこれからも続けてほしいと思います。

## 自動販売機のデザイン決定！

昨年6月に生徒玄関前に設置された自動販売機。計画では生徒のみんなから募ったデザインを施したものを置く予定でしたが、暑くなる前に設置することを優先したため、白いままでした。この度、2学期に「自販機ラッピング大作戦」と銘打ち、全校からデザインを募集し、決定までに3回にわたって投票を行いました。その結果、さんが最優秀賞に選ばれ、2学期終業式に表彰が行われました。今後、業者さんと打合せを行い、ラッピングされた販売機を設置します。

## 校区あいさつ運動

1 2月25日の朝8時から、東中学校生徒会と三日市小学校・川上小学校・天見小学校の各児童会の役員が、三日市町駅前であいさつ運動を行いました。この取り組みは、出勤や登校のために駅を利用する人に、少しでも気持ちよくなってもらうために、夏休み初日と合わせて年に2回行っています。今回は冬休み初日という事もあり、高校生や学生の姿は少なかったのですが、みんなで大きくさわやかな声で「おはようございます」とあいさつをしていました。開会式では東中学校生徒会から参加した児童や先生に、折り紙で作ったサンタクロースが渡されるなど、和気あいあいとした雰囲気でした。また、駅を利用しておられた方から、「お疲れ様です。ありがとうございます」と嬉しい言葉をいただきました。冬の寒い時期に、少しでも心が温かくなってもらおうと取り組んでいた姿が良かったです。

## 吹奏楽部クリスマスコンサート

1 2月25日に本校体育館で行いました。「裏方さん」として引退した3年生も受付などを手伝っていて、非常にアットホームな雰囲気でした。コンサートは3部構成で、第1部はアンサンブル、第2部は部員全員での演奏、第3部では長野中学校、加賀田中学校の吹奏楽部員も一緒に曲を披露し、大変盛り上がりました。

## 2年生救急救命講習（1月19日・22日）

保健体育の授業の一環として、消防署の方に来ていただいて実施しました。一般の人がAEDを使えるようになった経緯を学んだ後、1人ずつ「あっぱくん」という小さなハート形の模型を使って胸骨圧迫を体験しました。「1分間に100回以上」体重をかけて処置をすることの大変さを体感しました。授業の最後は実際に人が意識を消失して倒れている想定の下、どのように行動して人命を救助するかを学びました。中には教室を飛び出して職員室に行って助けを求めたり、本物のAEDを取りに行ったりした人もいて、楽しく真剣に学びました。いざというときに、サッと動けるかどうか人が命を左右する事につながります。万が一の場面に遭遇した時、今回身につけた知識や動きを、誰かのために役立ててください。

## 地震を想定した避難訓練（1月20日）

今年度3回目の避難訓練は、「今月中にする」とだけ事前に伝えられただけで、事前の予告がありませんでした。これまでと違い、昼休みに突然放送が入り、避難を呼びかけるものでした。これまでのように教室にいて、心づもりができていて、みんな避難するのとまったく違う状態だったのでビックリしたり戸惑ったりした人も多くいました。地震は突然起こります。台風や大雪のように、いつ頃来るか予測できないからこそ、普段からの意識が大切です。感想を見ると、たくさんの「怖かった」「焦った」に交じって、「自分で判断して行動することが大事だと分かった」という意見も多くありました。日頃からの備えをして、災害が起こった時にできるだけ落ち着いて行動する「自助」の意識をしっかりと持つことを今一度確認しましょう。

## がん教育（1月21日）

2・3年生を対象に、大阪南医療センターとwebで結んで学習を行いました。病気の説明や治療方法（手術、薬物療法、放射線治療）だけでなく、医療に携わっている職種や予防法、本人や家族、専門家のサポート体制等の様々な支援の方法など内容は多岐にわたりましたが、専門家が分かりやすく話をしてくださいました。日本人が一生のうちに癌と診断される確率は、男女とも2人に1人だそうで、特別な病気ではありません。怖いイメージがありますが、技術の発達により早期発見・適切な処置で生存確率も向上しています。私たちにできるのは、適度な運動や食事、睡眠時間などの生活習慣を整えることです。心身ともに健康でいられるよう、日々の生活を大切にしましょう。

